



大野則男 議員

子育て支援の充実を

質問

市江・永和出張所をなぜ残して欲しいのか。大切な事は、住民サービス、行政サービスをここで受けている多くの方がいる事だ。

サービスの低下をどのように補うのか。

また、代替案も含め、整理については、本庁完成後すぐ廃止ではなく、2年ほど利用状況を見て、整理をする必要があるのでは。

総務部長

出張所については、庁舎検討委員会での答申を踏ま

え整理し、廃止という方向で基本的な考え方は変わらない。

代替案については、巡回バスを少し充実させ、利便を図るなど、今後、改めて問題提起し、整理していきたい。

質問

永和出張所については、5千名弱の署名が出ている。重く受けとめてもらい、市長はどう整理するのか考えを伺う。

市長

出張所整備検討報告書が平

成22年12月に出ており、これを基本的に踏襲していくという考えである。5千名余りの署名は大変重く受けとめなければならぬと考えている。今後については、時期また代替案を総合的に判断していく。

質問

子育て支援では色々な事業があるが、ライフスタイルの変化や地域社会の変化に常に注意を払い、支援する必要があるが。

先般、放課後教室を廃止し、放課後児童クラブ、いわゆる児童館事業に統一していく方向が示された。頑張るお母さん方をどう支えていくのか、その中で利用料をどう考えていくのか。

福祉部長

子育ては、近年家族構成も、地域とのつながりもなかなか持ちにくいといった不安がある。市としては、制度を計画実施し、国・県がこれを支えるといった仕組みの構築が求められている。有効で成果の期待できる事業に優先して取

り組んでいく。

児童クラブの利用料は値上げするが、低所得者については利用料を免除してはどうかということでも話が進んでいる。

利用しやすい環境を作っていくというのが大切な事と考えている。

